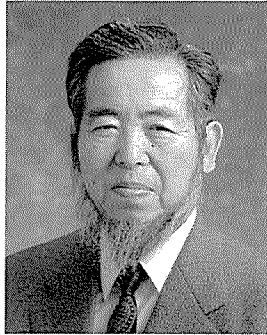


著作目録（細谷純）

著者	東北大学史料館
号	591
発行年	1996-03
URL	http://hdl.handle.net/10097/00065408

細 谷 純 教 授 著 作 目 録

平 成 8 年 3 月
東 北 大 学 記 念 資 料 室
(著 作 目 録 第 591 号)



細 谷 純 教 授 略 歴

生年月日 昭和7年6月18日生
出生地 東京都
本籍地 東京都 [REDACTED]
所 属 東北大学教育学部

学 歴

昭和31年3月 東京大学文学部心理学科 卒業
昭和33年3月 東京大学大学院人文科学研究科心理学専門課程（修士課程）修了
昭和36年8月 東京大学大学院人文科学研究科心理学専門課程（博士課程）中退

職 歴

昭和36年9月 国立教育研究所 研究員
昭和41年2月 東北大学教育学部 講師
昭和42年11月 東北大学教育学部 助教授
昭和54年10月 東北大学教育学部 教授 「現在に至る」
この間、東北大学評議員，教育学部長，教育学部附属大学教育開放センター長などを歴任。

学会ならびに社会における活動

東北心理学会会員，東北教育学会会員，極地方式研究会代表幹事，人間開発センターセンター長

著 作 目 録

◎著 書

- ◇授業分析における児童の認識成立の側面 波多野完治（編）授業の科学第7巻
授業分析の科学 国土社 1963
- ◇思考 児童心理学の進歩1963年版 金子書房 1963
※藤永 保との共著
- ◇思考 児童心理学の進歩1964年版 金子書房 1964
授業における「指導目標」論 馬場四郎（編）授業の探究 東洋館出版社 1965
- ◇空間・量・数の認識とその発達 黒田孝郎他（編）論理と数学 小学館 1968
- ◇発達心理学と教育 波多野完治他（編）心理学のすすめ 筑摩書房 1968
- ◇理科教材の構造とその構成 波多野完治他（編）教科の論理と心理5 理科編
明治図書 1968
- ◇知的情操とその教育 依田新他（編）情操教育 日本標準テスト研究会 1968
- ◇学習とレディネス 岡本夏木他（編）発達と学習 金子書房 1969
- ◇授業の分析 細谷俊夫他（編）授業の研究 国土社 1969
- ◇問題解決 東洋（編）思考と言語 東京大学出版会 1970
- ◇幼児の数教育 藤永 保他（編）言語と数 小学館 1971
- ◇幼児の自然認識とその教育 梅本堯夫他（編）感覚と認識 小学館 1971
- ◇教育1 科学教育 黒田正典（編）創造性の心理学 1971
- ◇自然科学教育 藤永 保他（編）創造性教育 有斐閣 1972
- ◇学力テストと教育評価 藤永 保他（編）創造性教育 有斐閣 1972
- ◇植物のつくりとはたらき 高橋金三郎（編）理科わかる教え方5年 国土社 1972
※高橋金三郎と共著
- ◇植物のつくりとはたらき 高橋金三郎（編）理科わかる教え方6年 国土社 1972
※武田康男と共著
- ◇極地方式の授業論 極地方式研究会（編）極地方式の授業71 評論社 1973
- ◇植物のかたちとくらし 極地方式研究会（編）極地方式の授業71 評論社 1973
- ◇地質学の第一歩 極地方式研究会（編）極地方式の授業71 評論社 1973

- ◇授業の創造と研究 高橋金三郎・細谷 純（編）極地方式入門 国土社 1974
- ◇極地方式の戦略一〜四 高橋金三郎・細谷 純（編）極地方式入門 国土社 1974
- ◇「地図」のテキスト作り 高橋金三郎・細谷 純（編）極地方式入門 国土社 1974
- ◇「地質学の第一歩」の場合 高橋金三郎・細谷 純（編）極地方式入門 国土社 1974
- ◇極地方式による理科授業の論理と心理 高橋金三郎（著）
極地方式による授業の研究 評論社
- ◇教育評価の使命と方法 藤永 保他（編）能力・適性・選抜と教育
第一法規 1975
- ◇課題解決のストラテジー 藤永 保（編）思考心理学 大日本図書 1976
- ◇ものの振動から音へ 高橋金三郎・若生克雄（編）やさしくて本質的な理科実験 2
評論社 1976
- ◇光は直進する 高橋金三郎・若生克雄（編）やさしくて本質的な理科実験 2
評論社 1976
- ◇磁石の極さがし 高橋金三郎・若生克雄（編）やさしくて本質的な理科実験 2
評論社 1976
- ◇ものの浮き沈みは密度でわかる 高橋金三郎・若生克雄（編）やさしくて本質的な
理科実験 2 評論社 1976
※黒田弘行との共著
- ◇アルニコ磁石を使おう 高橋金三郎・若生克雄（編）やさしくて本質的な理科実験 2
評論社 1976 ※黒田弘行との共著
- ◇理科の学業不振の子どもとストラテジー研究 上出弘之他（編）学業不振の子ども
福村出版 1980
- ◇工作 高橋金三郎（編）新版理科わかる教え方 1 年 国土社 1980
※甲斐道子との共著
- ◇はなのしる・みのしる 高橋金三郎（編）新版理科わかる教え方 1 年
国土社 1980
※高橋洋子との共著
- ◇うごくおもちゃ：風 高橋金三郎（編）新版理科わかる教え方 1 年 国土社 1980
※高橋洋子との共著
- ◇石さがし 高橋金三郎（編）新版理科わかる教え方 1 年 国土社 1980
※佐藤よし子・佐藤のり子との共著

- ◇ながさとかたち 高橋金三郎（編）新版理科わかる教え方 2 年 国土社 1980
- ◇月の動き 高橋金三郎（編）新版理科わかる教え方 4 年 国土社 1980
- ◇星の動き 高橋金三郎（編）新版理科わかる教え方 5 年 国土社 1980
- ◇世界の気候 高橋金三郎（編）新版理科わかる教え方 6 年 国土社 1980
※熊野千秋との共著
- ◇地形 高橋金三郎（編）新版理科わかる教え方 6 年 国土社 1980
※斎藤宏也との共著
- ◇細菌の培養 科教協東北地区協議会（編）やさしくて本質的な理科実験 1
評論社 1980
※千葉薫との共著
- ◇大腸菌の培養 科教協東北地区協議会（編）やさしくて本質的な理科実験 1
評論社 1980
※千葉薫との共著
- ◇発達とはどういうことか 東洋他（企）講座現代の心理学 2 人間の成長
小学館 1982
- ◇創造性の育成 4：自然認識 東北大学開放講座少年期 1982
- ◇創造性の育成 4：社会認識 東北大学開放講座少年期 1982
- ◇プログラミングのための諸条件 東洋他（企）講座現代の心理学 3 学習と環境
小学館 1983
- ◇学ぶことと教えること 永野重史他（編）発達心理学への招待 4 教育と発達
新曜社 1983
- ◇昼の長さ・夜の長さ 高橋金三郎他（編）やさしくて本質的な理科実験 3
評論社 1985
- ◇科学をどう教えるか 東洋他（編）講座教育の方法 6 科学と技術の教育
岩波書店 1987
- ◇今、私の考える科学教育と基礎学力 稲垣忠彦他（編）シリーズ授業 5 理科
電気の実験・花粉のはたらき 岩波書店 1991

◎論 文

- ◇幼児数概念の発達 心理学研究, 33, 202-215, 1962
※藤永 保・斎賀久敬と共著

- ◇実験教育法による幼児数概念の研究Ⅰ 教育心理学研究, 11, 18-26, 1963
※藤永 保・斎賀久敬と共著
- ◇実験教育法による幼児数概念の研究Ⅱ 教育心理学研究, 11, 75-85, 1963
※藤永 保・斎賀久敬と共著
- ◇実験教育法による幼児数概念の研究Ⅲ 教育心理学研究, 12, 44-53, 1964
※藤永 保・斎賀久敬と共著
- ◇教育科学とその方法としての実験 — 授業研究を中心にして —
教育学研究, 39, 120-128, 1972
- ◇日本教育心理学会における授業研究の現状 教育心理学年報, 13, 85-94, 1974
※宇野 忍・阿部康一との共著
- ◇心理学の立場からみた子どもの学力 教育学研究, 54, 54-57, 1987

◎学会発表

- ◇教材研究における情報の利用
日本教育心理学会 第6回総会発表論文集, 244-249, 1964
※永野重史・新田倫義と共著
- ◇英文読解過程の多面的研究
日本教育心理学会 第7回総会発表論文集, 180-185, 1965
※新田倫義・永野重史と共著
- ◇図形概念群の形成における次元間弁別の効果
日本教育心理学会 第9回総会発表論文集, 120-121, 1967
- ◇授業における児童の思考過程とその制御
日本心理学会 第32回大会発表論文集, 16-17, 1968
- ◇大学教育における教授・学習過程の研究(1)
日本教育心理学会 第10回総会発表論文, 180-181, 1968
- ◇大学教育における教授・学習過程の研究(2)
日本教育心理学会 第11回総会発表論文集, 422-423, 1969
※阿部康一と共著
- ◇教授活動の立案・改善および調整のための評価
日本教育学会35回大会発表資料 1976
- ◇教授者の工作的課題としての「問題解決」とストラテジー構成における心理学的要因 電気四学会連合大会発表資料 1974

- ◇思考研究と教材構成について 日ソ教授・学習シンポジウム資料 1977
- ◇「子供を知るためには子供を教えてみる必要がある」
日本心理学会第42回大会発表論文集, S20-S21, 1978
- ◇ATI現象をめぐって 日本心理学会第45回大会シンポジウム資料, 1981
- ◇教授・学習過程における交互作用の研究
日本教育心理学会第24回総会発表論文集, 676-683, 1982
※佐藤康司・研 攻一・宇野 忍・岩崎哲郎と共著
- ◇視的映像教材からの情報の読み取りと既有知識体系との関連
日本教育心理学会第25回総会発表論文集, 548-551, 1983
※徳田英明・宇野 忍と共著
- ◇社会科教材の構成法的研究
日本教育心理学会第25回総会発表論文集, 554-562, 1983
※宇野 忍・研 攻一・岩崎哲郎・阿部康一と共著
- ◇東北大生のエッセイ読解に及ぼす二種の挿入発問の効果
東北教育学会第49回大会発表論文集, 13-14, 1991

◎雑誌論説

<1961年>

- ◇テストの見方, 扱い方 千葉教育 No. 68
- ◇テストの作り方, 行ない方 千葉教育 No. 69
- ◇授業の研究 (その一) 千葉教育 No. 70
- ◇授業の研究 (その二) 千葉教育 No. 71
- ◇授業の研究 (その三) 千葉教育 No. 72

<1962年>

- ◇授業の研究 (その四) 千葉教育 No. 74
- ◇授業の研究 (その五) 千葉教育 No. 75
- ◇授業の研究 (その六) 千葉教育 No. 76
- ◇授業の研究 (その七) 千葉教育 No. 77
- ◇授業の研究 (その八) 千葉教育 No. 78
- ◇授業の研究 (その九) 千葉教育 No. 79

<1963年>

- ◇現場における授業の研究 千葉教育 No.93
- ◇授業における児童・生徒の個人差 総合教育技術 18(2) 5月号
※九編の実践報告「能力差に対処する学習指導の実際」を読んで
- ◇授業過程の科学化：授業研究と授業実践 学習心理 1月号
- ◇ばねとゴムを利用した力概念の形成(1) 学習心理 1月号
※永野重史・新田倫義・谷萩武男と共著
- ◇ばねとゴムを利用した力概念の形成(2) 学習心理 3月号
※永野重史・新田倫義・谷萩武男と共著
- ◇理科ノート方式による授業の創造と研究 学習心理 7月号
※永野重史・新田倫義と共著
- ◇「授業と認識」研究についての一提案 学習心理 9月号
※永野重史と共著
- ◇発見学習方式による授業のモデル 学習心理 11月号

<1964年>

- ◇授業の創造とその研究 ― 授業を《つくる》授業研究の提案 ―
総合教育技術 1月号
※誌上討議「授業研究における授業を《つくる》立場と《見る》立場」での問題提起
- ◇授業の創造とその研究(補説) 総合教育技術 2月号
- ◇学力構造の分析 現代の学力構造2 総合教育技術 5月号
※永野重史・新田倫義と共著
- ◇教科・教材・学力 現代の学力構造3 総合教育技術 6月号
※永野重史・新田倫義と共著
- ◇子どもの算数能力の伸ばし方 児童心理 2月号
- ◇「その研究で何がわかったか」 学習心理 3月号
※新田倫義・永野重史と共著
- ◇よい授業をつくろう 教育研究講座1 小四教育技術 4月号
※新田倫義・永野重史と共著
- ◇授業研究の原理 教育研究講座2 小四教育技術 5月号
※新田倫義・永野重史と共著

- ◇《教材》とは何か 教育研究講座 3 小四教育技術 6月号
※新田倫義・永野重史と共著
- ◇教材研究の出発点 教育研究講座 4 小四教育技術 7月号
※新田倫義・永野重史と共著
- ◇四年生に何を教えるか 教育研究講座 5 小四教育技術 8月号
※新田倫義・永野重史と共著
- ◇教材の学年配当 教育研究講座 6 小四教育技術 9月号
※新田倫義・永野重史と共著
- ◇理科「てんびん」の授業 教育研究講座 7 小四教育技術 10月号
※新田倫義・永野重史と共著
- ◇授業のための「作戦会議」 教育研究講座 8 小四教育技術 11月号
※新田倫義・永野重史と共著
- ◇理科ノート「てこやてんびん」について 教育研究講座 9 小四教育技術 12月号
※新田倫義・永野重史と共著
- ◇研究授業の企画から反省まで 小四教育技術 10月号
※日々の実践を高める研究授業の技術
※新田倫義・永野重史と共著, 川崎市中野島小学校と共同研究

<1965年>

- ◇経験と類推 教育研究講座10 小四教育技術 1月号
※新田倫義・永野重史と共著
- ◇教育研究の精神と課題 教育研究講座最終回 小四教育技術 2月号
※新田倫義・永野重史と共著
- ◇発見を促そうとする授業計画 現代教育科学 No.91
- ◇個性・能力に適した教育の徹底 現代教育科学 No.93
※教育課程改定の具体的方針の検討 3
- ◇授業研究, その新しくない課題 授業研究 No.14
※— 授業分析の新しい課題を求めて — (2)
- ◇「学習のつまずき」から「指導の仮説」へ 授業研究 No.17
※授業改善のための仮説の条件 1
- ◇認識のつまずきについての共同研究 問題・実施校の概略・応募について
授業研究 No.15
※永野重史との共著

- ◇認識のつまずきについての共同研究 第1回の結果とその分析・当選者発表
授業研究 No. 17
※永野重史との共著
- ◇認識のつまずきについての共同研究 応募問題の発表と実施校の紹介
授業研究 No. 18
※永野重史との共著
- ◇認識のつまずきについての共同研究 第2回の結果とその分析
授業研究 No. 20
※永野重史との共著
- ◇認識のつまずきについての共同研究 第3回の問題と実施校の紹介
授業研究 No. 21
※永野重史との共著
- ◇認識のつまずきについての共同研究 第3回の結果とその分析
授業研究 No. 24
※永野重史との共著
- <1966年>
- ◇認識のつまずきについての共同研究 第4回小学校6年植物教材応募問題
授業研究 No. 26
※永野重史との共著
- ◇認識のつまずきについての共同研究 第4回の当選者の発表と問題の解説
授業研究 No. 28
※永野重史との共著
- ◇書評 全授研編「授業研究入門」 授業研究 No. 28
- ◇書評 沖山光他著・授業における思考と構造 授業研究 No. 32
- ◇態度主義とは決別したはず 授業研究 No. 34
※誌上討論／発見学習による授業の展開における提案への意見
- ◇授業の組織化過程で認識の構造化を 現代教育科学 No. 98
※佐伯正一による提案「教育内容・方法における構造化理論」に対する意見
- ◇二年生にてこずろう 講座授業づくりの科学と技術
小二教育技術 4月号
- ◇手足のうごかし方に即して考えよう 講座授業づくりの科学と技術
小二教育技術 5月号

◇授業の共同制作 講座授業づくりの科学と技術
小二教育技術 6月号

◇《提案》創造を生み出す教材研究の視点 小二教育技術 10月号
※研究授業—こうすれば成功できる—

◇社会科授業における発展的な思考の育成
東北版教室の窓 3 No. 35 東京書籍東北支社

◇興味関心を高める教材の提示 とうほくの社会科教室 No. 27 東京書籍

<1967年>

◇授業の準備と指導案 特集各科学習指導案 小二教育技術 6月号

◇指導内容の再編成こそ急務 現代中学教育 No. 5
※能力差に応ずる指導の問題点 1

◇共通の問題意識をどうとらえるか *思想のカベを破る授業研究を*
授業研究 No. 49
※学校の授業研究体制づくりの基本問題 1

◇教育は必要なのか不必要なのか 現代教育科学 No. 122

◇教育と発達どちらが先か 児童の発達と理科教育 その2
とうほくの理科教室 No. 38 東京書籍東北支社

◇教育と発達はどちらが先か(続) 児童の発達と理科教育 その3
とうほくの理科教室 No. 39 東京書籍東北支社

◇教師と児童は赤の他人 児童の発達と理科教育 その4
とうほくの理科教室 No. 40 東京書籍東北支社

<1968年>

◇生育条件の役割重視 現代教育科学 No. 130
※教師はどのような発達観を持つべきか・3

◇書評「現代理科教育論」真船和夫著 現代教育科学 No. 131

◇授業過程分析の新しい課題 児童心理 9月号

◇「人間は創造物か創造者か」を念頭に 授業研究 No. 54
※ブルーナー提案と現場研究の課題 3

◇子どもの学習の乳ばなれ 小四教育技術 4月号

- ◇思考の“中心観念”とは何か 思考心理学からみた理科の教材研究 1
小四教育技術 5月号
- ◇“創造的思考”とは何か 思考心理学からみた理科の教材研究 2
小四教育技術 6月号
- ◇思考にとって“科学”とは何か 思考心理学からみた理科の教材研究 3
小四教育技術 7月号
- ◇“興味・関心”と“理解” 思考心理学からみた理科の教材研究 4
小四教育技術 8月号
- ◇「奇想法」による教材研究 思考心理学からみた理科の教材研究 5
小四教育技術 9月号
- ◇“知的活動の内発的動機づけ” 思考心理学からみた理科の教材研究 6
小四教育技術 10月号
- ◇「観測」は「実験」か 思考心理学からみた理科の教材研究 7
小四教育技術 11月号
- ◇児童の発達段階 思考心理学からみた理科の教材研究 8
小四教育技術 12月号
- ◇発達段階そしてレディネス 児童の発達と理科教育 その5
とうほくの理科教室 No.41 東京書籍東北支社
- ◇理科教育の大敵「心理主義」 児童の発達と理科教育 最終回
とうほくの理科教室 No.42 東京書籍東北支社
- ◇興味関心を高める教材の提示
とうほくの社会科教室 No.27 東京書籍東北支社
- < 1969年 >
- ◇思考と行為、科学と技術 思考心理学からみた理科の教材研究 9
小四教育技術 1月号
- ◇“操作”と“理解” 思考心理学からみた理科の教材研究10
小四教育技術 2月号
- ◇「思考心理学」と「教材研究」 思考心理学からみた理科の教材研究11
小四教育技術 3月号
- ◇子どもを考えさせるために 小四教育技術 6月号
- ◇授業における教師の思考と子供の思考 教育展望 15 (7)

- ◇児童・生徒理解と教授活動 ― とくに資料の収集と記録の仕方について ―
教育心理 17 (4)
※学校教育における心理学的研究法
- ◇教育目標のくだけ方 児童心理 1月号
- ◇「宿題の教育学」序説 ― 教授＝学習過程の一部としての宿題 ―
児童心理 6月号
- ◇算数指導と児童の発達 児童心理 9月号
- ◇「若小プラン」の作成者たち 総合教育技術 24 (2)
- ◇ガラクタ最適化研究からの解放を 現代教育科学 No.140
※学習指導の最適化研究をどう考えるか・3
- ◇教材の精選と実践による検証 教育科学 理科教育 1 (1)
※年間計画と理科指導案・どこに問題があるか
- ◇「教科書にあるから」ではなくて「このことをわからせたいから」へ
教育文化 No.80
- ◇人間形成は子ども自身がする 教育文化 No.80
- ◇授業いろいろ見てある記 教育文化, No.82
- ◇ことばの二つの意味 授業をめぐる「ことば」の分析3 授業研究 No.73
- ◇ものの集まりと「ことば」と概念と ―「むら」と「まち」をめぐる―
授業をめぐる「ことば」の分析4 授業研究 No.74
- ◇いわゆる「概念」「判断」「推理」について 授業をめぐる「ことば」の分析5
授業研究 No.75
- ◇保育計画における「教具」の意味 別冊幼児と保育 No.3
- ◇教育の研究・実践と教育機器の導入 千葉教育 No.151
- ◇教科学習と学校図書館 教育と研究を結ぶもの 学校図書館 No.227
全国学校図書館協議会
- <1970年>
- ◇作業班報告1：仙台作業班の近況 極地方式研究会誌 Depot, 1 (1)
- ◇作業班報告2：仙台作業班の近況 Depot, 1 (2)
- ◇理科年表 Depot, 1 (2)

- ◇「例外」は「法則」を証明する 授業をめぐる「ことば」の分析9
授業研究 No.83
- ◇「逆必ずしも偽ならず」―「論理的思考」小論―
授業をめぐる「ことば」の分析11 授業研究 No.86
- ◇定義，再定義，そして再々定義 ―知識形成のジグザグ過程―
授業をめぐる「ことば」の分析12 授業研究 No.87
- ◇教育目標の分析と評価 児童心理 3月号
- ◇子どもの疑問を育てる 小一教育技術 24(8)
- ◇民主主義の衣を着た「非民主主義」 現代教育科学 No.150
※戦後民主主義は授業に何を定着させたか・1
- ◇科学的見方・考え方をどう育てるか ※科学における知識と思考※
教育科学 理科教育 2(1)
- ◇授業の創造と研究 ―極地方式の場合 教育 No.250 7月号
※授業とはなにか―教科研究の視点から
- ◇子どもの疑問を育てる 小一～小六教育技術9月号増刊 なぜなお話資料集
※本文の内容は各学年同一。ただし，コラムが異なっている。

<1971年>

- ◇極地方式研究会の歴史1 Depot, 1(4)
- ◇「綱領」というものについて Depot, 1(4)
- ◇川渡学習会のあらまし Depot, 1(5)
- ◇極地方式研究会の歴史2 Depot, 1(5)
- ◇極地方式研究会の歴史3 Depot, 1(6)
- ◇第1回定期研究集会・全体会報告 Depot, 1(6)
- ◇答えになるようなならないような Depot, 2(1)
- ◇「長さ」と形についての討議 Depot, 2(1)
- ◇極地方式研究会の歴史4 Depot, 2(1)
- ◇極地方式研究会の歴史5 Depot, 2(2)
- ◇極地方式研究会の歴史6 Depot, 2(3)

- ◇第2回定期研究会報告 Depot, 2 (3)
 - ◇実践記録というもの 教育文化 No.96
 - ◇教材研究というもの 教育文化 No.97
 - ◇いわゆる科学的思考とかというもの 教育文化 No.98
 - ◇教授過程と学習過程 教育文化 No.99
 - ◇創造性・独創性というもの 教育文化 No.100
 - ◇思考の座標系としての概念体系 授業をめぐる「ことば」の分析¹⁴
授業研究 No.91
 - ◇「ゆえに」と「なぜならば」 授業をめぐる「ことば」の分析¹⁶ 授業研究 No.93
 - ◇教師の願いと子どもの学習 新授業論／極地方式の授業 ― (1)
総合教育技術 26 (8) 9月号
 - ◇教師の学習の内容・形態と子どもの学習の内容・形態
新授業論／極地方式の授業 ― (2) 総合教育技術 26 (9) 10月号
 - ◇授業原理としての「生兵法実践主義」 新授業論／極地方式の授業 ― (3)
総合教育技術 26 (10) 11月号
 - ◇法則で思考し、思考して法則を！ 新授業論／極地方式の授業 ― 最終回
総合教育技術 26 (11) 12月号
 - ◇極地方式テキスト作り：「地質学の第一歩」の場合 理科教室 6月号
 - ◇現場の授業研究への疑問 千葉教育 No.179
- < 1972年 >
- ◇極地方式研究会の歴史7 Depot, 2 (4 & 5)
 - ◇71年度秋期関西集会報告 Depot, 2 (6)
 - ◇71年9月学習会報告 Depot, 2 (6)
 - ◇極地方式研究会の歴史8 Depot, 2 (6)
 - ◇極地方式研究会の歴史9 Depot, 3 (1)
 - ◇極地方式研究会の歴史¹⁰ Depot, 3 (3)
 - ◇「授業」によって「科学」を学ぶ 理科教室 15 (7) 7月号
 - ◇発問・助言の方法と研究課題 ― 教師自らの「問いかけ」作りのために ―
現代教育科学 No.179
※「可能性を引き出す授業技術の分析/1」として

- ◇楽しくてわかる教え方（１） 理科＝ひまわり 小二教育技術 ４月号
- ◇楽しくてわかる教え方（２） 理科＝雨水のゆくえ 小二教育技術 ５月号
- ◇楽しくてわかる教え方（３） 社会＝地図づくりⅠ 小二教育技術 ６月号
- ◇楽しくてわかる教え方（４） 社会＝地図づくりⅡ 小二教育技術 ７月号
- ◇楽しくてわかる教え方（５） 国語＝漢字の学習 小二教育技術 ８月号
- ◇楽しくてわかる教え方（６） 国語＝作文の指導 小二教育技術 ９月号
- ◇楽しくてわかる教え方（７） 算数＝いろいろなかたち 小二教育技術 １０月号
- ◇楽しくてわかる教え方（８） 算数＝座標と原点 小二教育技術 １１月号
- ◇楽しくてわかる教え方（９） 図工＝方眼紙での紙工作 小二教育技術 １２月号

< 1973年 >

- ◇楽しくてわかる教え方（１０） 図工、音楽と評価 小二教育技術 １月号
- ◇楽しくてわかる教え方（１１） 「じゃあ」「でも」がとび出す授業
小二教育技術 ２月号
- ◇楽しくてわかる教え方（１２） “わかる発問”の論理 小二教育技術 ３月号
- ◇山形坊平学習会報告 Depot, 3 (5)
- ◇第３回定期研究集会報告 Depot, 3 (5)
- ◇教授＝学習過程をいかに理論化するか 「教授学と心理学」(1) 教育展望 19 (1)
- ◇日本の教育研究に欠落するもの 教育展望 19 (4)
※教師と研修 ―いかにあるべきか
- ◇考える力・考える態度を養う理科教育 指導と評価, 19 (10), 17-19
- ◇教授＝学習過程をいかに理論化するか 「教授学と心理学」(7) 教育展望 19 (7)
- ◇子どもの本音をとらえる実態調査 第１回解説 小二教育技術 ４月号
- ◇子どもの本音をとらえる実態調査 第２回解説 小二教育技術 ６月号
- ◇子どもの本音をとらえる実態調査 第１回調査報告 二年生の動物観
小二教育技術 ７月号
- ◇子どもの本音をとらえる実態調査 第２回調査報告 二年生の植物観
小二教育技術 ９月号
- ◇子どもの本音をとらえる実態調査 第３回解説 小二教育技術 １０月号

◇自然の認識と教育 保育 28 (2)

◇極地方式によるテキスト作り 教育文化 No.111

◇意欲を育てる教材研究 児童心理 27 (10)

◇考える力・考える態度を養う理科教育 指導と評価 19 (10)
日本教育評価研究会

<1974年>

◇子どもの本音をとらえる実態調査 第3回調査報告 二年生のルール観
小二教育技術 1月号

◇子どもの本音をとらえる実態調査 ファックス資料の解説
小二教育技術 5月号

◇子どもの本音をとらえる実態調査 解説と調査のしかた
小二教育技術 7月号

◇子どもの本音をとらえる実態調査 第1回調査報告 はたらくということの意識
小二教育技術 8月号

◇子どもの本音をとらえる実態調査 第2回調査報告 お金についての考え方
小二教育技術 10月号

◇教授・学習理論をいかに理論化するか 教育展望 20 (1)

◇物質の学習を基本とするものの浮き沈みの学習 ― 極地方式の場合 ―
教育展望 20 (11) 8月号

◇「地形」学習 その条件と発展 理科教室 17 (13) 12月号

◇教育評価というもの 教育文化 No.124

◇教師というもの 教育文化 No.126

◇教師の学習する内容・学習形態が同時に子どもの学習内容・学習形態である
教育文化 No.127

<1975年>

◇どんな時に、授業は失敗なんだろう? Depot, 5 (4)

◇見える・見えない, 見る・見ない Depot, 5 (6)

◇「きまり」なければ, 思考なし Depot, 6 (1)

◇積み重ね型と組み換え型 そして, 授業のドラマ化について
教育展望 21 (2) 3月号

- ◇「ドヒャー型」と「じわじわ型」 法則体系はどのように組み換えられるか
教育展望 21 (6) 7・8月号
- ◇教師の学習する内容の形態が同時に子どもの学習内容・学習形態である
教育展望 21 (10) 11月号
- ◇教えることが教師を育て すべてのこどものレベルが高まる
科学・技術教育の条件 の用意を 教育科学 理科教育 No.81 9月号
※指導要領改定への教育研究団体の意見
- ◇子どもの疑問にどう答えるか 「授業に生かす心理学」① 小一教育技術 6月号
- ◇子供の思考を発展させるには 「授業に生かす心理学」② 小一教育技術 7月号
- ◇子供に考えさせる発問の条件 「授業に生かす心理学」③ 小一教育技術 8月号
- ◇すぐれた発問を創造し、新しい疑問を育てよう。「授業に生かす心理学」④
小一教育技術 9月号
- ◇知識の形成を全身の活動を通して 「授業に生かす心理学」⑤
小一教育技術 10月号
- ◇「知能」を高める記号化と行為化 「授業に生かす心理学」⑥
小一教育技術 11月号
- ◇よい授業を求めて ― 授業検討・基準の反省 ― 教育研究 30 (11)
- ◇映像教材と子どもの認識 放送教育 29 (10)
※「放送教育相談室」

<1976年>

- ◇「わかる授業」をつくり出す わかる授業 No.1
- ◇問題の解決と問題の創造 教科学習の心理学1 わかる授業 No.1
- ◇考えることと考えさせること わかる授業 No.2
- ◇動物と栄養 わかる授業 No.2
- ◇「わかる授業」の提案をめぐって わかる授業 No.2
- ◇思考におけるルールの役割 教科学習の心理学2 わかる授業 No.2
- ◇問題のなりたち「分数の計算」をどう教えるか わかる授業 No.3
- ◇認識のつまずきと認識の発展 教科学習の心理学3 わかる授業 No.3

◇ことばと思想と行動と わかる授業 No. 4

◇私たちは、全身全霊でたべている わかる授業 No. 4

◇学習の主体としての子どもたち 教科学習の心理学 4 わかる授業 No. 4

< 1 9 7 7 年 >

◇大自然の知的探検における「きまり」の役割 1 概念、判断、推理（問題解決）
学図教科研究（小学理科） No. 55

◇大自然の知的探検における「きまり」の役割 2 「きまり」と「実例」と「例外例」
学図教科研究（小学理科） No. 56

◇大自然の知的探検における「きまり」の役割 3 思考における「きまり(概念)」の
基本性について 学図教科研究（小学理科） No. 57

◇大自然の知的探検における「きまり」の役割 4 「誤ルール体系」の「ルール体系」
への変換 学図教科研究（小学理科） No. 58

◇大自然の知的探検における「きまり」の役割 5 知識の構造化 学図教科研究
（小学理科） No. 59

◇テキスト「花とたね」のねらい わかる授業 No. 5

◇テキスト「世界の地形」・「世界の気候」 わかる授業 No. 5

◇私は信じている — 知識はエネルギーであると わかる授業 No. 6

◇子どもを知るためには子どもを教えて見る必要がある わかる授業 No. 6

◇教科学習の特徴 教科学習の心理学 5 わかる授業 No. 6

◇行動と思考の座標系としての「地図」 わかる授業 No. 7

◇親馬鹿・教師馬鹿とあきらめた単純さ わかる授業 No. 8

◇テキスト「塩・さとう・酸」のねらい わかる授業 No. 8

◇どうなったら問題は解決され、学習は完成したのか 教科学習の心理学 6
わかる授業 No. 8

◇「読む」ことが嫌にならない授業の要件 わかる授業 No. 9

◇どうなったら「ルール」は形成されたといえるのか 教科学習の心理学 7
わかる授業 No. 9

◇球から目を離すな！ わかる授業 No. 10

◇子どもへのレッテル付けではない「評価」のために わかる授業 No. 10

◇「ルール」づくり、「実例」さがし、そして「体系」のつくりかえ
教科学習の心理学 8 わかる授業 No. 10

◇極地研の研究総括と展望 理科教育 9 (8)

◇子どもたちの発言やふるまいに学んでテキストを作りたい

教育科学 社会科教育 No.158 3月号

※藤岡信勝による問題提起「授業書方式による社会科授業の方法」に対する意見

<1978年>

◇発問論 (その1) Depot, 9 (3)

◇学習や学習援助における「発問」の役割 教科学習の心理学9 わかる授業 No.11

◇「イメージ」は教えられない わかる授業 No.12

◇特殊教育のもつ一般性と普通教育のもつ特殊性 わかる授業 No.12

◇「発問」の系列としての学習援助のストラテジー 教科学習の心理学10

わかる授業 No.12

◇課題解決における「イメージ」の役割 わかる授業 No.13

◇「方眼」を武器にした「かたち」の学習を わかる授業 No.14

◇それでも子どもたちはめがねをつくる わかる授業 No.14

◇ことわざ利用の気象の学習 理科教室 21 (5)

◇極地方式研究会の研究総括と展望 理科教育 No.120

◇「概念くだき」と学習 ―生き生きとした学習を育てるために―
児童心理 32 (11)

◇教材や授業について公共性の高いハンドブックこそを 授業研究 No.187 9月号

◇障害児学級での重さの指導 わかる授業 No.12

※高橋由起子との共著

<1979年>

◇問題解決の援助における「発問」の作りかえ Depot, 10 (2)

◇極地方式研究会の授業 理科教育 No.136

◇「授業」で問われている教材分析の問題 ―授業から生れ、授業を作る授業研究―
現代教育科学 No.266 4月号

◇極地方式研究会の授業

―教育実践は一般化を可能にする要素をたくさん含んでいる―

教育科学 理科教育 No.136 8月号

<1980年>

◇極地研綱領によるカナダ便り (1) Depot, 10 (5)

◇「音」・「振動」・「力」 理科教室 23 (3)

◇子どもにとっての活動ときまりの発見

小学校指導シリーズ 55年度用・小学校理科 活動と言語 学校図書

<1981年>

◇教育コミュニケーション ― 伝えることと知ること ― 教育と医学 29 (10)

<1982年>

◇「わが銀河系」の授業についてのコメント Depot, 10 (5)

◇教師の思考と子どもの思考 ― 知ることと教えること ― 教育展望 28 (8)

※思考力の育成

<1983年>

◇低学年社会科の教科書をどう使ったらよいか わかる授業 No.22

◇「発達の段階」ではなく「学習の段階」を わかる授業 No.23

◇授業で楽しいということ, わかること 理科教育 No.193

◇知識体系の組み換えや「ルール」の使用を可能にする条件は何か

教育科学 社会科教育 No.246

※私が聞かせたい“社会の小話”

◇授業で楽しいということ, わかるということ ― 子どもたちは, どんな時にどんなことをやりたがり その思いをどう育てているだろう ―

教育科学 理科教育 No.193 12月号

<1986年>

◇学力とは何か 心理学と教育の対話 こころの科学増刊①

◇事実そのものとの対話を豊かに 心理学と教育の対話 こころの科学増刊①

※中内敏夫「学力とは何か」を受けて

<1987年>

◇子どもにとって勉強とは何か 教育心理 35 (4)

※勉強が好きな子・嫌いな子

